

ビギナーズプランツ

～とにかくカンタン！楽しんでみよう～



◆カランコエ

鮮やかな花色が魅力のカランコエは実は多肉植物の一種。肉厚の葉にたっぷり水分を含んでいるので、乾燥に強く水やりは控えめでOK！花の開花期間もとっても長く室内の窓辺でも楽しめる、とにかくカンタンで優秀な花です。



◆ポトス

観葉植物の定番！日陰にも強く育てやすい点はもちろん、垂れるように葉が伸びる姿はナチュラルな雰囲気を出せます。伸びすぎた葉が歪みあった部分はカットしてあげると、新しい元気な葉が芽吹いてきます。



◆フィカスペンジャミン バロック

くるくるとカールした葉がユニークなベンジャミン・バロック。普通のベンジャミンは日光不足で葉が落ちやすいですが、バロックは比較的耐陰性が強いので間接的に明るいお部屋ならOKです。

本格的に暖かくなってきました。本来ならば行楽に出かけたみたいシーズンですが、気軽にお出掛けできない日々が続いていますね。こんな時こそ植物の力を借りて、お家で過ごす時間を少しでも豊かなものにしてみては如何でしょうか？

観葉植物のキホン

ほとんどの観葉植物は直射日光を避けた明るい環境を好みます。種類によって日陰に強い植物もありますが、窓がなく全く日光が入らないお部屋だと段々軟弱になってしまうので、時々明るい場所に移してあげてください。そして1番重要なのは水やりです。「土が乾いたら、鉢底に流れるくらい与える」というのが基本中の基本！季節や天気により乾くスピードが変わるので、何日に1回と決めずぎずに、指で触って確かめながらやっていたのが一番良い方法です。自信がない方は土の乾き具合を教えてくれるアイテム（水やりチェッカー）もあるので取り入れてみてください。



◆フレボディウム ブルースター

シルバーグリーンのマットな質感の葉がなんともオシャレなブルースター。シダ植物の1種なので日陰にもとても強いです。少し珍しいタイプなので、人とはかぶりたくない個性派の方にもオススメ！



◆ペペロミア グラベラ

ころんと丸みを帯びた葉が可愛いペペロミア・グラベラ。マーブル模様が空間を明るくしてくれます。日陰にも強いですがある程度明るいところのある室内の方がより美しい色を保てます。



万葉の花 カキツバタ

小笠原 誓

カキツバタは、アヤメ科には珍しい湿地を好む水生植物です。古くから野生品種そのものを鑑賞し、平安時代以降庭園の発達にもない栽培されました。室町時代に発生したいけ花にはカキツバタは重要な花材として取り上げられ、初夏の花として活けられました。花のみならず葉も美しく、カキツバタの学名の種名「*Hy. laevis*」(イリス・レヴィグイガータ)は「平滑な」の意味があり、美しい滑らかな葉の様子からと思われま



①花壇地錦抄 伊藤伊兵衛三之丞著 元禄8年(1695)わが国で出版された最初の園芸辞典に品種掲載されている。



②東海道名所之内 池畔新八ツ橋 歌川豊国(三代)画 文久2年(1862)現在も愛知県知立市では無量寿寺の境内にある回遊式庭園で史跡八橋かきつばたまつりが開催される。

な品種改良家があらわれず改良の度合いに差があるのは残念です。現在では熱心な園芸研究家の手により品種改良が行われています。

万葉集にみるカキツバタ

加吉都播多(かきつばた)衣に摺りつけ(丈夫(ますら)ひ狩する着襲(きそ)ひ狩する)

月夜(きり)

(杜若の花を衣に摺り付けて、ますらお連が、その紫の衣を重ね着して狩をする月がやってきたのだ。)

歌中の「狩」とは葉狩のことで、五月の節句に狩の衣服を整えて山野に出て葉草を採集する行事のことです。万葉集には他に六首カキツバタを詠んだ和歌が見られます。カキツバタの語源は、摺付花(かきつけばな)転じたもので、当時はカキツバタの花の汁を衣服に押しつけて染めたので「かきつけばな」と呼ばれました。



③西本野山草 橋保国 宝暦5年(1755)鉛字本ながら立派な植物図譜で、草木は筆指によって画かれ各々の植物の特徴をよく表現しています。



④万葉和歌集 校異 橋経亮 校正 文化2年(1805)(万葉集は7世紀後半から8世紀後半にかけて編まれた)第17巻内、大伴家持が同年に詠んだ6首の内1首カキツバタの文字として、加吉都播多、垣津姫、垣橋、垣津娘がみられます。



⑤江戸遊覧花暦 岡山鳥書 長谷川雪日画 天保8年刊(1837)江戸市中または近郊の花の名所案内。当時の花見風俗の資料、木下川葉師別当庭中



⑥鉢植えで楽しむ

information NHK 出演情報
小笠原 誓
◇NHK趣味の園芸 「万葉の花」第3回
カキツバタ 日本人好みの色と形
*放送: 5月31日(日) 午前8:30~8:55